

## ITや各種産業機器を特殊塗料で支える 機能性の付加でソリューションを提供

導電性やノイズ対策、電磁波対策など機能を持った工業用の特殊塗料を開発・生産する江戸川合成株式会社。IT機器などさまざまな用途に向けて塗料を提供する同社の事業と今後の展開について同社の代表取締役 篠原 幸治氏にうかがった。

### 塗料に求められる ノイズ・電磁波対策

塗料は主に「保護」「美装」「機能性付加」などの役割を持つ。一般的には塗装した素材を腐食やサビから守ったり、色や模様でデザイン性を高めるといったイメージを持つ。江戸川合成株式会社はさまざまな機能性を付加した工業用塗料の開発・生産を通じて産業界に大きな貢献を果たしている。

「色々な塗料の中でも当社が得意とする分野は物理的・化学的に機能を持たせた付加価値のある製品づくりです。例えば導電性塗料やノイズ対策、電磁波対策を施した塗料はIT機器をはじめとする各種産業機器に幅広く使われています。デジタルカメラや携帯電話などの通信機器、プロジェクターといった身近な製品にも当社の塗料が利用されています」（篠原氏）

1996年に入社し3代目の社長として率いている篠原氏は、創業1935年という長い歴史を刻んできた同社を専門性が高く、技術力が求められる製品づくりへと

シフトし、業績向上へと導いてきた。

「多くの経験や実績に加え、新たな原材料の知識を加味して生まれる新しい発想から、ユーザーの要望にお応えできる製品づくりを心掛けています。特に過酷な環境下にさらされることの多い産業機械分野では、強靱な塗膜性能と安定した品質、供給体制が要求されます。完成塗膜を極めるためには各ユーザーや製品別にマッチする塗料を設定することが理想と考えています」（篠原氏）

常に新たな製品づくりに向けた研究・開発を行うとともに、ユーザーがどのような塗料を求めているのかを的確に理解し、そのソリューションとしての塗料を提供するのが同社の姿勢だ。

### ISO取得と運用を通じ 社内改革や士気を向上

ユーザーの細かな要望をくみ取り、これに合わせたオーダーメイドとも言える塗料づくりを通じて、同社とユーザーの信頼関係は深まってきた。

「まだ市場に出回っていない開発段階で、

どのようなコーティングが必要かという新たな相談が持ち込まれます。当社ではその守秘義務を遵守するとともに、ユーザーとの対話を密にして、いかに相手の事業分野に深く入り込んだコミュニケーションができるかが大切だと考えます」（篠原氏）

同社はこれまでの実績を通じて培ってきた信頼関係と専門性を生かすとともに、「塗料についてはなんでも相談できる」「任せられる」という企業を目指してきた。

また、同氏は社内機構の改革にも注力し、2009年には品質マネジメントシステム ISO9001と環境マネジメントシステム ISO14001を取得した。

「社内の体質を改めて、新たなルール作りの一環としてISOの取得を目指し、これを運用に生かしています。社員の業務に対するモチベーションも上がり、誇りを持って仕事に従事できるようになりました」（篠原氏）

ITがさらに進化し、新たな製品が続々と誕生してくるなかで、同社が果たすべき役割は大きい。これを担うことで、さらに大きく成長を遂げていくことだろう。



### 江戸川合成株式会社

代表取締役 篠原 幸治(しのはら・こうじ)氏

[本社]〒355-0071 埼玉県東松山市新郷84-2  
[電話]0493-26-0781 <http://www.edog.co.jp>  
●創業:1935年 ●従業員数:30名 ●代表者:代表取締役 篠原 幸治  
●事業内容:特殊塗料・溶剤の開発・生産。



全ての選択には、  
フィクションに勝るドラマがある。  
<http://kenja.jp/>

全国放送

兵庫・大阪



毎週日曜 / 朝10:00~10:55

毎週日曜 / 昼12:00~12:55

毎週月曜 / 夜10:00~10:55